

耳下腺腫瘍摘出手術を受けられる患者様へ

耳下腺腫瘍パス【20007-01】

No1/1

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 担当看護師： _____

月日	1 日目 (手術 1 日前)	2 日目 (手術日)	3 日目 (術後 1 日目)	4 日目 (術後 2 日目)	5 日目 (術後 3 日目)	6 日目 (退院日)
目標 毎日看護師と 評価します	□治療の内容がわかる					
	□入院生活、手術についてわかる □体温が正常である (38℃以下)	□創部に問題がない(腫脹がない)			□創の抜糸ができる	
		□顔面神経麻痺(口角が下がるなど)の症状がない				
		□必要な時は痛み止めの薬を使用し、痛みが軽減できる				
		□ドレーン挿入中の注意点がわかり安全に取り扱いできる			□創の管理方法、退院後生活の注意点についてわかる	
		□発熱がない(38℃以下)				
内服 注射 検査	□安静が守られている		□ドレーンからの排液が増量しない		□ドレーンが抜ける	
	抗生剤の点滴(1 日 2 回) 術日は補液(5 時間程度)を実施します。翌日以降は食事摂取状況に合わせて行うこともあります					
処置	・主治医から手術について説明があります ・麻酔科医、手術室看護師がお部屋に伺います		採血 		抜糸 	
			・毎朝6時にドレーン排液の測定を行います(排液の量が減ってくると、ドレーンが抜けます) ・9 時頃(休日は 9 時半)から病棟内の耳鼻科処置室で診察があります ・創部は透明なフィルムで保護しており、抜糸までそのままです			
	・検温(1 日 3 回：術後 3 日目まで) 		検温(1 日 1 回) 			
食事 飲水	・絶飲食の時間をお伝えします		・手術後は許可が出たら、飲食ができるようになります 食事はお粥が出ます			
			・術後 2 日目より米飯に戻ります ・術後 2 日目以降もお粥を希望される方はお知らせ下さい			
清潔	・浴室使用の時間については看護師からお伝えします		・傷口に唾液が溜まると傷口の治りが悪くなるため、唾液が多く出やすい食材(柑橘系の果物、酢の物、梅干しなど)のない食事となります			
			・手術日から術後 1 日目まではタオルで体を拭くことになります ドレーンが抜けないように看護師がお手伝いします		・ドレーンが抜けたら全身シャワー浴ができます	
安静 活動	・院内自由 	・手術後、ベッドの頭側は少しあげておいた方が呼吸が楽にできます ・トイレ・洗面以外はお部屋で安静に過ごしましょう		退院基準： □創部の感染・離開がない □傷の手入れ方法と留意すべき食材がわかる		
		・術後 1 日目より院内自由				
説明 指導	・手術後の起き上がり方、ドレーンチューブの取り扱いについて看護師から説明します。		《手術後》 ・痛い、吐き気がする、息が苦しいなどの症状があれば、ナースコールでお知らせ下さい ・ドレーンが入っている間は、動く時、チューブが突っ張ったり、折れ曲がったりしないように注意しましょう チューブの先には血液を貯める容器がついています ※普段は巾着に入れ、首からぶら下げ、パジャマにピンで止めます		【退院後の生活について】 ・傷の管理については「傷のお手入れについて」のパンフレットを参照して下さい ・次回受診までは唾液が多く出やすい食材は控えて下さい	

注)現時点で考えられる予定であり変更になることがあります